

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024500	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自主防災会関係事業		所属名	危機管理部 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成8年度～全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	災害対策基本法
施策	4101	地域防災力の向上				
施策の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	自主防災会関係費			予算事業コード	01-02-01-11-07-12

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内自主防災会（KPI設定により消防団も含める）
意図 (どのような状態にするために)	災害時の被害軽減に必要な自助・共助・公助のうちの「共助」の中心となる自主防災会や消防団の機能を強化することにより地域防災力の向上を図る。
手段 (どうするか)	市が指定する研修の修了者を「防災リーダー」に登録するとともに、地区公民館単位で防災リーダーの中から1名を「防災指導員」として委嘱するなど、自主防災活動の中心的役割を担う者を育成し、消防団員と共に住民による地域防災力の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	8,248	8,482	8,432	8,529	8,262
	直接経費 A	1,029	1,163	1,189	1,339	1,191
	国・県	331	0	445	442	442
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	698	1,163	744	897	749	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]自主防災組織率	%	目標	97
			実績	96	96	96	96	97
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	[KPI]消防団員数充足率	%	目標	97	98	99	100	100
			実績	96	96	95	94	94
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
3	防災リーダー	人	目標	100	100	100	100	100
			実績	105	100	76	76	0
	(指標の説明) 地域の自主防災活動を行うため、所定の研修を修了した者を防災リーダーとして登録した人数							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】防災支援係 0857-30-8034</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算(事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 地区公民館を単位として、地域の防災事情に詳しい者を防災指導員として養成・登録。危機管理課に配置している防災コーディネーターと連携して、自主防災会などによる地域の「自助」及び「共助」の取り組みを支援するなど、地域の実情に応じたきめ細やかな防災対策を推進することにより地域防災力の向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 令和3年3月現在 防災指導員.....51名 防災リーダー登録者.....639名 (消防団員...1, 276名) 防災リーダー新規登録者...0名 自主防災会訓練・研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 防災指導員(防災リーダー)を危機管理課の防災コーディネーターの依頼により、自主防災会の訓練・研修会へ積極的に派遣した。 例年実施している防災指導員研修・防災リーダー養成研修は新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、各地区の自主防災会や消防団と連携を密にし、防災指導員・防災リーダー・消防団員の育成と後継者等も含めた人員確保と、防災指導員などの地域防災の要となる者を通じて地域住民への防災知識の普及に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	【KPI】自主防災組織率	99%	98%	97%	96%	97%
	2	【KPI】消防団員数充足率	99%	98%	96%	94%	94%
	3	防災リーダー	105%	100%	76%	76%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、当初予定していた研修会が実施できなかったため、防災リーダー新規登録者数は0となった。自主防災組織率は新規が見込まれない状況であるため、96~97%で推移している。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>3回の研修会受講を修了することにより防災リーダーとして新規登録となるが、新型コロナウイルス感染症拡大により、当初予定していた研修会が実施できなかったため、防災リーダー新規登録者を増やすことが出来なかった。自主防災組織率は新規が見込まれない状況であるため、96~97%で推移している。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>引き続き、防災指導員及び防災リーダーの育成に努めるとともに、防災指導員未配置の地域へは委嘱に向けた働きかけを行うよう努める。また、防災指導員などの地域防災の要となる者の活動を活性化させる取り組みをより一層推進する。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	総合防災対策事業		所属名	危機管理部	危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期	
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	災害対策基本法	
施策	4101	地域防災力の向上					
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区			
			0	0			
運営方法			0	0	事業分類区分	ソフト(任意)	
			0	0	運営方法	直営	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	総合防災対策事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の安全確保のための総合的な防災対策整備
意図 (どのような状態にするために)	「自助」「共助」「公助」それぞれを有効かつ連携して機能させ、災害を未然に防ぎ、また発生時の被害及び住民生活等に及ぼす影響の最小化を図る。
手段 (どうするか)	市民に配布する防災マップの作成やFM鳥取の緊急割込み放送等による防災情報提供の充実と、自主防災会自らが作成する防災マップの作成支援等「共助」の充実による地域防災力向上。また、BCP策定や事業所の協定による「公助」の体制整備。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①総合防災マップ・BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画改訂、BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画改訂、BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①総合防災マップの刷新、避難所運営マニュアルの作成 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、新規災害時応援協定 5件
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	23,584	11,908	11,427	39,839	22,292
	直接経費 A	16,365	4,589	4,184	32,649	15,221
	国・県	3,748	0	425	14,267	1,901
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	12,617	4,589	3,759	18,382	13,320	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	地区防災マップ作成	地区	目標	4
			実績	0	2	0	1	1
	(指標の説明) 地区公民館単位で住民自らが作成する防災マップの作成地区数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】防災支援係・危機対策係 0857-30-8034・30-8033</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P22(危001)</p> <p>【事業の概要】 災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する。また、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく。 住民への防災情報伝達 災害時における住民への情報伝達手段について、多種多様な方法により情報の発信を行い、自主防災会等へのメール配信など住民への情報提供を行う必要がある。 総合防災マップ等の活用 令和元年度に刷新した総合防災マップ等を活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。</p> <p>○ 災害時応援協定都市との交流 災害時において相互応援協定締結都市と情報の共有を行い、災害時の連携強化を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアル(感染症に対応した補足編)の作成</li> <li>・職員参集システム、自主防災会メール配信システム、被災者支援システムの運用</li> <li>・災害時応援協定都市との連携強化</li> <li>・防災啓発ラジオ番組制作、放送</li> <li>・災害対策本部室維持管理</li> </ul> <p>平成30年度 4,184千円 令和元年度 32,649千円 総合防災マップの刷新費含 令和2年度 15,221千円 災害対策本部室維持管理費含</p> <p>【今後の課題・方向性】 よりの確に災害対応が行えるように、随時手段等の更新・見直しを行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	地区防災マップ作成		50%		25%	25%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	多様な情報伝達手段によって、より多くの住民に防災情報の伝達が図られた。また、地域防災計画、総合防災マップ等を活用した防災意識・防災体制の強化を図られた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各地区において集会等が自粛され地区における話し合いの機会が減少されたことに伴い作成数が目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も効果的な防災情報伝達手段を用いて、より迅速に、より多くの住民に防災情報が伝達できるように努めていく。また、地区防災マップの作成など、住民自らが地域の防災に関わりを持つことでその意識の高揚に繋げていくよう努める。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024701	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	消防ポンプ車購入・格納庫建設事業(消防ポンプ車)		所属名	危機管理部 危機管理課	

## 1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	消防ポンプ車購入費		予算事業コード	01-08-01-03-03-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団に配備する消防ポンプ車
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化した消防ポンプ車を更新し、火災をはじめとした消防団の災害対応に万全を期す
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車を計画的に更新する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①ポンプ車更新 2台	①ポンプ車更新 2台	①ポンプ車更新 2台	①ポンプ車更新 2台	①ポンプ車更新 2台	①ポンプ車更新 2台
年度別実績	①ポンプ車更新 2台 (河原本部、鹿野第1)	①ポンプ車更新 2台 (末恒、豊実)	①ポンプ車更新 2台 (明治、佐治第1)	①ポンプ車更新 2台 (中ノ郷、国府第3) ポンプ車更新(消防庁 貸与) 1台(青谷第 3)	①ポンプ車更新 2台 (津ノ井、気高第1)	①ポンプ車更新 2台	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	40,925	36,266	27,919	39,500	48,896	
	直接経費 A	40,203	35,534	27,195	38,781	48,189	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	40,100	35,300	27,000	38,600	48,000
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	103	234	195	181	189		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	消防車更新台数	台	目標	2
	(指標の説明) 更新した消防車の台数		実績	2	2	2	3	2
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】消防企画係 0857-30-8032</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P24(危006)</p> <p>【事業の概要】 消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過しているものがある。消防ポンプを計画的に更新することにより、作業効率の向上及び火災時等における被害の軽減を図ることが必要である。</p> <p>【事業の成果】 消防ポンプ自動車更新、小型動力ポンプ更新 平成30年度 27,195千円 令和元年度 38,781千円 令和2年度 48,189千円 ポンプ車更新(明治、佐治第1)、小型ポンプ更新(神戸、東郷) ポンプ車更新(中ノ郷、国府第3)、小型ポンプ更新(大和)、ポンプ車更新(消防庁貸与)(青谷第3) ポンプ車更新(津ノ井、気高第1)、小型ポンプ更新(明治)、小型ポンプ配備(美穂)</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和2年度末時点の消防ポンプ自動車及び小型ポンプ積載車の総数は53台で、購入から20年以上経過するポンプ車は15台、積載車は4台ある。また、小型ポンプの総数は39台で、購入から20年以上経過するポンプは18台ある。 購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	消防車更新台数	100%	100%	100%	150%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>消防ポンプ車の更新等により、消防団活動の効率化を図ることができた。今後も、購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行い、地域防災力の維持向上を図る。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024702	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	消防ポンプ車購入・格納庫建設事業(格納庫建設)		所属名	危機管理部 危機管理課	

## 1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4101	地域防災力の向上			
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	消防ポンプ車格納庫建設事業費			予算事業コード	01-08-01-03-02-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団の消防ポンプ車格納庫
意図 (どのような状態にするために)	老朽化し、また消防団員の待機室を備えていないなど設備が不十分な消防ポンプ車格納庫を防災拠点として必要な施設とするため
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車格納庫を建設する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①消防ポンプ車格納庫建設 1棟	①消防ポンプ車格納庫建設 2棟	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟
年度別実績	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟(用瀬分団)	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟(明治分団)	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟(福部地区分団)	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟(青谷第3分団)	①消防ポンプ車格納庫建設 1棟(用瀬大村分団)		
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
事業費	事業費(A+B)	27,267	27,277	32,212	30,331	38,596	
	直接経費 A	26,545	26,545	31,488	29,612	37,889	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	24,900	23,200	31,300	29,400	35,500
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,645	3,345	188	212	2,389		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	消防ポンプ車格納庫建設数	棟	目標	1
			実績	1	1	1	1	1
	(指標の説明) 建替又は改築等により整備した消防ポンプ車格納庫の棟数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							



# 事務事業評価シート

事務事業コード	024800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	防災行政無線整備事業		所属名	危機管理部 危機管理課	

## 1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	防災行政無線整備事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-15

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市防災行政無線（地上系無線）
意図 (どのような状態にするために)	防災行政無線により、全市域へ災害時の緊急情報を伝達可能とするため
手段 (どうするのか)	防災行政無線の難聴地域での無線設備整備及び既設のアナログ防災行政無線設備のデジタル化による整備更新

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①防災行政無線のデジタル化整備(青谷地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(福部・佐治地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(河原・用瀬地域)
年度別実績	①防災行政無線のデジタル化整備を完了(青谷地域)	①防災行政無線のデジタル化整備に着手(気高・鹿野地域/2カ年事業)	①防災行政無線のデジタル化整備を完了(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備を完了(福部・佐治地域)	①防災行政無線のデジタル化整備を完了(河原・用瀬地域)	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	164,904	146,639	281,504	382,279	646,644
	直接経費 A	157,685	139,320	274,261	375,089	639,717
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	149,100	139,300	266,200	375,000	628,800
	その他	0	0	8,056	0	0
一般財源	8,585	20	5	89	10,917	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	防災行政無線デジタル化	カ所	目標	1
			実績	1	0	2	2	2
	(指標の説明) 防災行政無線をアナログ方式からデジタル化するもの(国府を除く新市域)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P23(危003)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市の防災行政無線(同報系)は、平成22年にデジタル化方式で整備した鳥取・国府地域と、合併前にアナログ方式で整備されていたその他新市域の8つのシステムで運用していたが、総務省のデジタル化の方針により、令和4年11月までにアナログ方式からデジタル方式へ切り替えるとともに、鳥取市として1つのシステムに統合する必要があるため、年次的にデジタル化整備・統合を行う。</p> <p>【事業の成果】 本年度は、河原・用瀬地域において、防災行政無線のデジタル化整備を実施した。 平成29年度 139,320千円 気高・鹿野地域 平成30年度 274,261千円 " 令和元年度 375,089千円 福部・佐治地域 令和2年度 639,717千円 河原・用瀬地域</p> <p>【今後の課題・方向性】 防災行政無線は令和2年度にデジタル化整備・システム統合を完了したが、防災情報を瞬時かつ広範囲に発信する有効な情報伝達手段であり、経年劣化による機器の故障等が生じた場合、市民の安心安全を脅かす恐れがあることから、年次的な機器の更新を実施する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	防災行政無線デジタル化	100%		100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	河原・用瀬の2地域でデジタル化改修を実施し、計画の通り事業を完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	現地説明により市民の理解を得つつ、音圧の基準を設けて、地域内で平等な情報伝達が可能となるよう整備した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>令和2年度をもって、計画どおり、防災行政無線のデジタル化及び統合を完了することができた。今後は、適切な維持管理及び経年劣化に対応した年次的な機器の更新を実施する必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業		所属名	福祉部 地域福祉課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市避難行動要支援者支援 制度実施要項、災害対策基本 法
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費			予算事業コード	01-03-01-01-43-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に支援の必要な障がい者やひとり暮らしの高齢者などの要援護者
意図 (どのような状態 にするために)	災害時要支援者登録台帳を整備し、地震や洪水などの災害時において地域の「共助」により支援を受けられる体制を整備する。
手段 (どうするのか)	市内の自治会単位で災害時要支援者登録台帳を整備する。特に支援が必要な障がい者やひとり暮らしの高齢者などについては、対象者リストを地域の支援組織に提供し、要支援者の存在について認識してもらうとともに対象者に対し、制度への登録について勧奨を行ってもらう。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人 (H28.3.31現在)	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,108人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数5,727人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数5,408人	
事業費	年度別実績	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,340人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,310人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,108人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数5,727人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数5,408人	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
		事業費(A+B)	3,641	3,669	4,468	4,539	3,806
		直接経費 A	350	337	249	359	270
		直接経費の財源内訳					
国・県	0	0	0	0	0		
地方債	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0		
一般財源	350	337	249	359	270		
人件費 B	3,291	3,332	4,219	4,180	3,536		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	避難行動要支援者登録台帳登録者数	人	目標	6021
			実績	6340	6310	6108	5727	5408
	(指標の説明) 平成28年3月31日現在登録者数を基準とする。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P52(福003)</p> <p>【事業の概要】 要支援者対象者をまとめた「避難行動要支援者対象者リスト」(避難行動要支援者名簿)を作成する。このリストを地域の支援組織(自治会、自主防災組織、民生児童委員、地区社会福祉協議会)に提供し、要支援者対象者の存在を認識していただくとともに、支援が必要な対象者に対して個別計画を策定する制度への登録勧奨を行っていただく。</p> <p>【事業の成果】 制度登録者数 平成30年度末：6,108名 令和元年度末：5,727名 令和2年度末：5,408名</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、対象者に対して制度への登録勧奨を行っていただくために、継続して取り組んでいく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	避難行動要支援者登録台帳登録者数	105%	104%	100%	94%	89%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり今年度事業を完了したため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	概ね年度目標を達成したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>福祉職と連携した制度の普及や、対象者要件の見直しなどを行いながら継続していく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	災害時における支え愛地域づくり推進事業		所属名	福祉部 地域福祉課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、根拠計画等	わが町支え愛マップ推進事業補助金交付要綱
施策	4101	地域防災力の向上				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	わが町支え愛活動支援事業補助金			予算事業コード	01-03-01-01-56-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障がい者や独居の高齢者の方々等(要支援者)
意図 (どのような状態にするために)	要支援者が身近な地域で安全安心に暮らすための地域住民が主体となった支え愛体制の充実を図る。
手段 (どうするのか)	要支援者に対する災害時の避難支援等の仕組みづくりや平常時の見守り体制づくり等の住民組織等による取組を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:20団体 ・ステップアップ事業:5団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:15団体 ・ステップアップ事業:5団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:0団体 ・ステップアップ事業:4団体	
年度別実績	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:5団体 ・ステップアップ事業:4団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:2団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体	①要援護者支援の取組み助成 ・支援事業:0団体 ・ステップアップ事業:0団体		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,322	1,028	924	1,019	707	
	直接経費 A	600	296	200	300	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	600	296	200	300	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	実施住民組織	団体	目標	25
	(指標の説明)		実績	9	8	6	8	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】福祉企画係 0857-30-8202</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】          市社協の補助対象者：町内会、自治会等の住民組織          補助対象事業：支え合いマップの作成、個別避難訓練の実施、平常時の見守り体制の構築、地域支え愛会議の開催等          補助限度額（市が県と同等以上の補助金を市社会福祉協議会へ支援することが必須）          ・わが町支え愛活動支援事業：1住民組織あたり10万円以内          ・わが町支え愛活動ステップアップ事業（27年度から）：1住民組織あたり20万円以内          財源：県1/2 市1/2          補助金の交付方法          住民組織等の窓口は市社会福祉協議会（市社会福祉協議会は県社会福祉協議会を通じて県から交付を受けた補助金と市から交付を受けた補助金の合計額を住民組織等へ交付）</p> <p>【事業の成果】（市社協へ補助）          平成30年度決算額 支援事業：4団体 100千円、ステップアップ事業：2団体 100千円          令和元年度決算額 支援事業：4団体 100千円、ステップアップ事業：4団体 200千円          令和2年度決算額 支援事業：0団体 0千円、ステップアップ事業：0団体 0千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          令和2年度はコロナ禍により事業実施が困難な状況であった。令和3年度も継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	実施住民組織	36%	40%	75%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	コロナ禍の影響により住民組織等の活動を控えられたため。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	コロナ禍の影響により住民組織等の活動を控えられたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	継続して実施していく。		
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	普通河川改良事業		所属名	都市整備部 都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	普通河川改良事業費		予算事業コード	01-07-03-01-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	準用河川及び治水・環境衛生上重要な法定外水路
意図 (どのような状態 にするために)	流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る
手段 (どうするのか)	河川改良整備を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③青谷町福井田川改良工事 ④鮫後川改良工事 ⑤北田川改良工事 ⑥笹谷川改良工事	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③茶屋川改良工事 ④吉野川改良工事 ⑤旧畑山川改良工事 ⑥佐治町河合谷川改良工事 工事測量設計業務	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③佐治町河合谷川改良工事 ④尾花谷川改良工事 ⑤旧畑山川改良工事 ⑥日光川改良工事	①内海川改良工事 ②佐治町河合谷川改良工事 ③旧畑山川改良工事 ④日光川改良工事 ⑤坂根川改良工事 ⑥尾花谷川改良工事	①内海川改良工事 ②日光川改良工事 ③坂根川改良工事
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	82,793	98,903	51,221	53,006	72,088	
	直接経費 A	75,574	91,584	43,978	31,436	57,946	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	68,000	82,300	39,400	30,300	57,945
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,574	9,284	4,578	1,136	1		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	21,570	14,142		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	3.00	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	法定外水路の改修・改良工事	箇所	目標	6
			実績	6	6	6	5	3
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】河川係 0857-30-8343</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P161(都022)</p> <p>【事業の概要】 河川災害を未然に防止するため、治水・環境衛生上重要な法定外水路の改修・改良を行い、流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る。</p> <p>【事業の成果】 法定外水路の改修・改良工事など 平成30年度 33,436千円 令和元年度 19,501千円 令和2年度 31,900千円 (翌年度繰越額 13,700千円 内海川改良工事等)</p> <p>【今後の課題・方向性】 河川災害を未然に防止し住民の安全確保を図るため継続的に改良事業等に取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	法定外水路の改修・改良工事	100%	100%	100%	83%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	施工区間の計画変更による調整等に不測の日数を要したため。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

河川災害を未然に防止し、市民の安全確保を図るため、引き続き計画的に取り組む必要がある。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	治水対策事業	所属名	都市整備部 都市環境課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	治水対策事業費	予算事業コード		01-07-03-01-11-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	洪水時、宅地の浸水被害を生じている区域
意図 (どのような状態にするために)	浸水被害の軽減を図る
手段 (どうするのか)	浸水の要因となっている河川改良及び内水被害の軽減を図るポンプ場整備等の実施

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①瀬戸川改良工事 ②大塚地区浸水対策工事	①大塚地区浸水対策工事 ②塩見川関連浸水対策調査検討業務 ③用瀬町川中谷川改良工事測量設計業務 ④河原町クモ谷川改良工事測量設計業務 ⑤既設ポンプ場の操作・点検	①用瀬町川中谷川改良工事 ②大塚地区浸水対策工事 ③河原町散岐地区浸水対策工事測量設計業務	①宮ノ谷川測量設計 ②讃岐地区浸水対策設計施工業務 ③三谷地区水路改修 ④佐貫地区水路改修 ⑤クモ谷川(測量・工事) ⑥宝木地区水路改修 ⑦箭浜ゲート設置工事 ⑧川中谷川改良工事	①青谷地区内水対策 ②糸谷川改良工事測量設計業務 ③宮ノ谷川浸水対策 ④三谷地区水路改修 ⑤佐貫地区水路改修 ⑥クモ谷川改修工事 ⑦宝木地区水路改修	
年度別実績	①瀬戸川改良工事 ②大塚地区浸水対策工事	①大塚地区浸水対策工事 ②塩見川関連浸水対策調査検討業務 ③用瀬町川中谷川改良工事測量設計業務 ④河原町クモ谷川改良工事測量設計業務 ⑤既設ポンプ場の操作・点検	①用瀬町川中谷川改良工事 ②大塚地区浸水対策工事 ③河原町散岐地区浸水対策工事測量設計業務	①宮ノ谷川測量設計 ②クモ谷川(測量・工事) ③三谷地区水路改修 ④佐貫地区水路改修 ⑤讃岐地区浸水対策設計施工業務 ⑥川中谷川改良工事 ⑦箭浜ゲート設置工事 ⑧井出ポンプ取替工事	①青谷地区内水対策 ②糸谷川改良工事測量設計業務 ③宮ノ谷川浸水対策 ④三谷地区水路改修 ⑤佐貫地区水路改修 ⑥クモ谷川改修工事 ⑦宝木地区水路改修		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	56,315	63,017	62,354	95,625	169,474	
	直接経費 A	49,096	55,698	55,111	81,245	155,332	
	直接経費の財源内訳	国・県	344	1,063	1,468	750	911
		地方債	30,600	30,900	7,100	45,600	139,855
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,152	23,735	46,543	34,895	14,566		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	14,380	14,142		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				1	宅地浸水解消戸数	戸	目標	2	0
				実績	2	0	1	4	3
	(指標の説明) 治水事業により浸水被害を解消することができた宅地戸数(平成30年度修正)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】河川係 0857-30-8343</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次：当初予算・P162(都023)        9月補正・P34(都006)        12月補正・P27(都002)</p> <p>【事業の概要】        浸水被害を受けたことのある地域を早急に内水処理対策し、浸水被害を防ぎ市民の安全確保を図る。</p> <p>【事業の成果】        排水ポンプ点検運転業務、測量設計業務、改良工事など        平成30年度 45,360千円        令和元年度 49,640千円        令和2年度 63,778千円        (翌年度繰越額 5,000千円 宮ノ谷川浸水対策工事等)</p> <p>【今後の課題・方向性】        内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全確保を図るため、継続的に事業に取り組む必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	宅地浸水解消戸数	100%		100%	100%	25%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	事業計画の変更のため。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業計画の変更などによる事業進捗の遅延によるもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 浸水被害を受けたことのある地域を早急に対策し、浸水被害を防ぎ市民の安全確保を図る必要がある。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業		所属名	都市整備部 建築指導課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市耐震改修促進計画
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0		
運営方法			0	0	事業分類区分	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費			予算事業コード	01-07-01-02-17-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	昭和56年5月31日以前に建築(旧耐震)された戸建て住宅、一般建築物、要緊急安全確認大規模建築物の所有者
意図 (どのような状態にするために)	耐震診断、補強設計、耐震改修を実施し市民の安全性を確保するとともに震災に強いまちづくりとする。
手段 (どうするのか)	戸建て住宅については、無料診断のPRを行い、耐震化の必要性を認識していただき、改修のための補助金の交付。また、一般建築物の所有者に対しても耐震化の必要性を認識していただき、耐震診断を行う者に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	①耐震診断:50件 ②耐震設計:15件 ③耐震改修:10件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件 ④ブロック塀撤去、改修:75件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件 ④ブロック塀撤去、改修:100件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件 ④ブロック塀撤去、改修:100件
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	19,515	57,114	71,047	23,574	74,049	
	直接経費 A	15,184	52,723	66,701	19,260	69,806	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,297	39,481	49,928	14,370	52,285
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,887	13,242	16,773	4,890	17,521		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	4,243		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	耐震化率	%	目標	90
			実績	83.4	84	84.7	85.3	85.8
2	(指標の説明) 耐震化基準を満たした住宅や民間特定建築物の割合	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】建築指導係 0857-30-8362</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】                  予算事業別概要目次：当初予算・P169(都038)</p> <p>【事業の概要】                  補助金名：震災に強いまちづくり促進事業費補助金                  目的：震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全を図る。                  内容：昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及びその他建築物の耐震診断、補強設計、耐震改修、ブロック塀の撤去・改修等に対して助成を行う。                  補助対象者：建築物の所有者及びブロック塀の撤去・改修等を行う所有者。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>耐震診断</td> <td>補強設計</td> <td>耐震改修</td> </tr> <tr> <td>平成30年度：29件</td> <td>平成30年度：9件</td> <td>平成30年度：7件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度：21件</td> <td>令和元年度：3件</td> <td>令和元年度：7件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度：32件</td> <td>令和2年度：7件</td> <td>令和2年度：7件</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>ブロック塀撤去</td> <td>ブロック塀改修</td> </tr> <tr> <td>平成30年度：30件</td> <td>平成30年度：21件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度：23件</td> <td>令和元年度：8件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度：20件</td> <td>令和2年度：7件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】                  耐震化事業の必要性をPRしながら、国の交付金や県の補助金を活用して耐震化率の向上を図る。</p>	耐震診断	補強設計	耐震改修	平成30年度：29件	平成30年度：9件	平成30年度：7件	令和元年度：21件	令和元年度：3件	令和元年度：7件	令和2年度：32件	令和2年度：7件	令和2年度：7件	ブロック塀撤去	ブロック塀改修	平成30年度：30件	平成30年度：21件	令和元年度：23件	令和元年度：8件	令和2年度：20件	令和2年度：7件
耐震診断	補強設計	耐震改修																			
平成30年度：29件	平成30年度：9件	平成30年度：7件																			
令和元年度：21件	令和元年度：3件	令和元年度：7件																			
令和2年度：32件	令和2年度：7件	令和2年度：7件																			
ブロック塀撤去	ブロック塀改修																				
平成30年度：30件	平成30年度：21件																				
令和元年度：23件	令和元年度：8件																				
令和2年度：20件	令和2年度：7件																				

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	耐震化率	93%	91%	91%	91%	90%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	耐震化の大切さを知ってもらうためには建物の現状を把握することが必要であるため、一戸建て住宅の無料診断の案内を全戸に回覧したり市報、HPなどに掲載し啓発した。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民への啓発を行い、国の交付金と県の補助金制度を活用して事業を進めているが、申請件数が予算枠を下回っているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	震災に強いまちづくりに向けて引き続き建物の耐震化に対する市民への啓発等を実施し、耐震診断・改修に係る事業を継続していく。また、大規模建築物耐震改修への助成を引き続き行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	総合支所耐震化事業		所属名	総務部 財産経営課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	総合支所整備事業費			予算事業コード	01-02-01-06-01-43

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	総合支所庁舎
意図 (どのような状態 にするために)	地域防災拠点として必要な機能を備える。
手段 (どうするのか)	耐震性の向上、非常用自家発電機的能力向上、バリアフリー化推進等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	①昨年度からの気高総合支所の工事完了 ②昨年度からの用瀬総合支所の設計業務完了 ③設計業務が完了した福部、河原、佐治総合支所の工事発注	①昨年度からの佐治総合支所の工事完了 ②昨年度からの福部、河原総合支所の工事推進 ③設計業務が完了した用瀬総合支所の工事発注	①一昨年度からの福部、河原総合支所の工事完了 ②昨年度からの用瀬総合支所の工事推進
年度別実績	①福部、河原、佐治、気高総合支所の耐震化方針決定 ②福部、河原、佐治総合支所の設計業務発注 ③気高総合支所は設計施工一括発注	①用瀬総合支所の耐震化方針決定 ②福部、河原、佐治総合支所の設計業務完了 ③気高総合支所の工事推進 ④用瀬総合支所の設計業務発注	①気高総合支所の工事完了 ②用瀬総合支所の設計業務完了 ③福部、河原、佐治総合支所の工事発注	①佐治総合支所の工事完了 ②福部、河原総合支所の工事推進 ③用瀬総合支所の工事発注	①福部、河原総合支所の工事完了 ②用瀬総合支所の工事完了	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	27,077	307,272	625,226	1,141,248	800,047
	直接経費 A	19,858	292,634	610,740	1,126,868	785,905
	国・県	614	20,191	0	0	0
	地方債	18,400	261,100	593,600	1,058,900	743,600
	その他	0	11,343	9,774	0	0
一般財源	844	0	7,366	67,968	42,305	
人件費 B	7,219	14,638	14,486	14,380	14,142	
職員数の内訳	正規職員	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	耐震改修等工事完了	支所	目標	0
			実績	0	0	1	1	3
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】財産政策第一係 0857-30-8131</p> <p>【10次総の施策体系】5501</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P8(総015)          9月補正・P2(総004)</p> <p>【事業の概要】          総合支所の地域防災機能の向上を図るため、耐震改修工事等を行う。</p> <p>【事業の成果】          平成30年度 気高町総合支所 工事完了          用瀬町総合支所 設計業務完了          福部、河原、佐治町総合支所 工事発注          令和 元年度 佐治町総合支所 工事完了          福部、河原町総合支所 1期工事完了          用瀬町総合支所 工事発注          令和 2年度 福部、河原町総合支所 2期工事完了          用瀬町総合支所 工事完了</p> <p>平成30年度実績 610,740千円          令和 元年度実績 1,126,868千円          令和 2年度実績 785,905千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          国府、鹿野、青谷町総合支所の整備方針を決定し、事業着手する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	耐震改修等工事完了			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおりのスケジュールでの進捗。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	福部、河原、用瀬支所整備事業の完了。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
		<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	引き続き事業推進を図る。国府・鹿野・青谷町総合支所の整備方針を決定し事業着手する。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	国民保護訓練		所属名	危機管理部 危機管理課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、根拠計画等	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0		
実施の目標			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	国民保護訓練費		予算事業コード	01-02-01-11-27-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内で大規模なテロ(緊急対処事態)や有事(武力攻撃事態)が発生又は発生するおそれのある場合(想定)に危険区域にいる市民及び関係機関
意図 (どのような状態にするために)	大規模なテロや武力攻撃から市内にいる全ての人の生命、身体、財産を保護する。
手段 (どうするか)	鳥取市国民保護計画及び細部計画(マニュアル)に基づく国民保護訓練を実施し、有事の際の行動について住民に周知するとともに、訓練結果を検証し、市国民保護計画や市が行う国民保護措置をより実効的なものとする。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施(用瀬町)	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施
年度別実績	①本市災害対策本部の統括部職員に対する図上訓練を実施	①地域住民・関係機関・事業者等と連携した実動訓練、本市災害対策本部の統括部職員に対する図上訓練を実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施(河原町)	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施(用瀬町)	①国民保護訓練(図上訓練等)の実施(明治)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,255	7,338	7,301	7,280	7,088	
	直接経費 A	36	19	57	90	17	
	直接経費の財源内訳	国・県	16	0	10	38	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	20	19	47	52	17		
人件費 B	7,219	7,319	7,244	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				国民保護訓練の実施	%	目標	1	1
1	(指標の説明) 有事の避難のため、住民の参加等を得て実施する国民保護訓練の実施回数	実績	1	2	1	1	1	
		目標	0	0	0	0	0	
2	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】消防企画係・危機対策係 0857-30-8032・30-8033</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算(事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市国民保護計画に基づく細部計画(マニュアル)の見直し及びそれらを根拠とした市単独の図上訓練並びに実動訓練を実施する。</p> <p>【事業の成果】 12月11日、明治地区において国民保護訓練を実施し、国民保護法の概要について理解を深めるとともに、武力攻撃事態における住民避難時の関係機関の連携要領について図上で検討及び確認した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 住民の国民保護に関する理解を深めるとともに、蓄積された訓練実績やノウハウ等を活かしながら継続的に訓練を実施することで、より実効性のあるものとする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	国民保護訓練の実施	100%	200%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、当初計画どおりの住民参加型の実動訓練を実施できなかったが、住民避難時の関係機関の連携要領について図上で検討及び確認した。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、当初計画どおりの住民参加型の実動訓練を実施できなかったが、住民避難時の関係機関の連携要領について図上で検討及び確認した。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>毎年、国民保護訓練を実施していくものとする。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	防災備蓄事業		所属名	危機管理部 危機管理課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	県及び市町村の備蓄に関する 連携体制整備要領
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	防災備蓄事業費			予算事業コード	01-02-01-11-18-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に必要となる物資
意図 (どのような状態 にするために)	災害時に必要となる物資の備蓄の確保と県内市町村等との相互支援体制の充実
手段 (どうするのか)	備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制を確保する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①アルファ米300食、ライスクッキー2,304食、保存用ビスケット2,040食、粉ミルク1,384回分、ウェットティッシュ700袋ほか ②バーテーション15張、段ボールベッド15台	
年度別実績	①アルファ化米2,500食、保存水7,680本、ウェットティッシュ800袋、粉ミルク1,152回分、し尿処理セット3,200セット、ブルーシート1,600枚	①アルファ化米850食、保存水7,680本、ウェットティッシュ700袋、粉ミルク1,152回分、し尿処理セット3,200回分、タオル1,200枚	①粉ミルク1,152回分	①アルファ米300食、ライスクッキー2,304食、保存用ビスケット2,040食、粉ミルク1,384回分、ウェットティッシュ700袋ほか ②バーテーション15張、段ボールベッド15台	①粉ミルク1,377回分、液体ミルク144缶 ②ダンボールベッド10台、折りたたみベッド15台		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,769	8,486	7,392	10,879	10,037	
	直接経費 A	1,550	1,167	149	3,689	2,966	
	直接経費の財源内訳	国・県	415	0	57	928	264
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	151
一般財源	1,135	1,167	92	2,761	2,551		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	連携備蓄品の割合	%	目標	70
			実績	71.41	80.7	83.01	76.66	80.69
	(指標の説明) 県・市町村が共同して備蓄している品目のうち、本市が備蓄する品目の基準数量に対する備蓄割合(非充足分)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算(事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 県及び県内市町村が災害時に必要となる物資の品目、数量を定めた「県及び市町村の備蓄に関する連携体制整備要領」を基本として、災害に備えて県内市町村が共同で備蓄し、災害時には被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給する相互援助体制をとることにより、備蓄する量を抑えることができる。</p> <p>【事業の成果】 ・粉ミルク(アレルギー対応品含む)1,377回分 ・液体ミルク144缶 ・段ボールベッド10台、折りたたみベッド15台</p> <p>【今後の課題・方向性】 備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理するとともに、備蓄数量の目標達成のための調達計画を作成し、確実な防災備蓄品の確保を目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	連携備蓄品の割合	102%	101%	92%	77%	81%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成28年度から令和2年度までの5年間で、県連携備蓄の目標数量まで備蓄数量を増やすことを目指してきたが、最終年度末時点で達成することができなかった。今後は年度ごとの調達数量を具体的に示した計画を作成し、目標達成を目指していく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	037400	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自主防災活動補助事業		所属名	危機管理部 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自主防災活動補助金		予算事業コード	01-02-01-11-07-09	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内自主防災会
意図 (どのような状態 にするために)	災害時に必要な防災資機材の整備や防災活動に必要な事業を支援することにより地域防災力の充実・強化を図る。
手段 (どうするか)	各自主防災会が災害時必要と認める防災資機材等の購入や整備に対し、世帯数や課題検討シート提出という加算条件により補助額を算定し、補助するもの。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金 ②鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金	①鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金 ②鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金	①鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金 ②鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金	
	年度別実績			①鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金申請件数57件 ②鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金申請件数3件	①鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金申請件数157件 ②鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金申請件数3件	①鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金申請件数 371件 ②鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金申請件数 3件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	15,819	23,716	37,932	
	直接経費 A	0	0	8,576	16,526	30,861	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	1,500	511	0
		地方債	0	0	0	0	4,500
		その他	0	0	4,543	400	2,000
	一般財源	0	0	2,533	15,615	24,361	
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金申請件数		目標	0	0	197	329	447	
				実績	0	0	57	157	371	
	(指標の説明) 昨年度までの申請件数実績が目標値を下回るため、最終年度の目標値を残りの未申請件数分として修正するもの									
	2	鳥取市自主防災会小型可搬式ポンプ整備補助金申請件数		目標	0	0	3	3	3	
				実績	0	0	3	3	3	
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										



# 事務事業評価シート

事務事業コード	037500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域情報化推進事業		所属名	企画推進部 情報政策課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成29年度 ~ 平成31年度
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地域情報化推進費			予算事業コード	01-02-01-07-05-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民や観光客が、市の行政情報や防災情報を発信するFM鳥取を
意図 (どのような状態にするために)	市内で聞くことができるようにするため
手段 (どうするか)	可聴エリア拡大のための中継局を新設する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別実績		①FM放送エリア拡大の調査検討	①FM放送エリア拡大の実施設計 ②民放ラジオ難聴解消支援事業補助申請	①中継局の建設	①サービス開始	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	1,464	5,628	179,243	18,974	
	直接経費 A	0	0	4,179	176,367	18,267	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	68,516	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	27,460	354
	一般財源	0	0	4,179	80,391	17,913	
人件費 B	0	1,464	1,449	2,876	707		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.20	0.20	0.40	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		FM鳥取の可聴エリア拡大を目的とした中継局建設の進捗率	%	目標	0	0	20	100	100	
			実績	0	0	20	100	100		
	(指標の説明) 中継局建設の進捗率									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026</p> <p>【10次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：平成30年度6月補正・P03（総調003）</p> <p>【事業の概要】 FM鳥取の可聴エリア拡大のために、毛無山・小倉山の二箇所の中継局を建設する。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度：設計 4,179千円 令和元年度：中継局建設 124,409千円 （無線システム普及支援事業費等補助事業：68,516千円） 令和2年度：中継局設備保守 1,379千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 安定的な運用を目指すとともに、鳥取西道路及び鳥取道のトンネル内等の聴取不可能エリアに対しての可聴エリア拡張を検討する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	FM鳥取の可聴エリア拡大を目的とした中継局建設の進捗率			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	予定通りサービス開始となっているため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	年度目標を達成したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>サービス開始に伴い、FM鳥取の可聴エリア拡大の安定稼働を保つための運用保守を継続して行っていく。</p>		